令 和 ８ 年 ６ 月 定 例 会 行 政 報 告

１ ． 一 般 行 政 報 告

１）要望等について

２）寄贈金品について

３）令和７年国勢調査速報値について

４）作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況について

５）中標津空港の利用促進について

６）令和８年度建設工事の発注状況について

令和８年６月１５日

中　　標　　津　　町

貴重な時間をお借り致しまして、３月定例会以後の行政報告を申し上げます。

１．要望等について

第１点目は、要望等についてであります。

１）最初に、北海道議会議員選挙における根室市選挙区と根室地域選挙区の区域維持に関する要望活動であります。

次期道議選を前に根室市選挙区にかかる検討がなされている中、両選挙区の現状維持を求めるため、5 月 12 日に北海道議会を訪問し、伊藤 条一（じょういち） 議長をはじめ、定数等検討協議会 吉田 祐樹 座長ほか、７団体に対し、根室管内４町の総意として要望書を提出致しました。

根室市選挙区は、単なる一つの普通市の選挙区にとどまらず、日本全体に対して北方領土の重要性を発信する特別な位置付けを有しており、人口減少に関わらず特別区として維持することは、ロシアに対して北方領土返還実現への強い意志を示し、決して諦めないという明確なメッセージを発信するためにも重要であると訴えてまいりました。

管内４町の商工会をはじめとする 32 団体からも、同様の声が寄せられていたところであり、管内を代表し、根室町村会会長の湊屋 羅臼町長をはじめ、後藤議長とともに「根室市選挙区」と「根室地域選挙区」の維持について要望致しました。

２）次に、北海道道路整備促進協会としての要望活動であります。

北海道の道路を取り巻く環境は、高規格道路における未整備区間をはじめ、自然災害に伴う交通障害や道路施設の老朽化など多くの課題を抱えていることから、５月 13 日、国土交通省及び地元選出国会議員に対し、資材価格高騰や人件費が上昇する中でも、必要な道路整備や除排雪を含む維持管理を長期安定的に進めるための予算確保などについて要望致しました。

３）次に、医師確保に係る要望活動であります。

５月 14 日から 15 日にかけまして、道内各医育大学等に対し、町立中標津病院の現状及び診療体制の報告、地域医療が抱える課題等について意見交換を行うとともに、地域医療の確保をはじめ地域センター病院としての診療科の確保を図るため、医師の継続派遣について要望致しました。

４）次に、北方領土隣接地域 振興対策 根室管内市町連絡協議会としての要望活動であります。

ロシアによるウクライナ侵攻以降、日露関係は極めて厳しい状況が続いており、1956 年の日ソ共同宣言から 70 年という節目を迎える中で、事態の長期化とともに北方領土問題への関心が薄れていくことが懸念されます。

この状況を打開するため、５月 19 日、木原 内閣官房長官、黄川田 内閣府特命担当大臣、国光 外務副大臣を訪問し、ウクライナ情勢の一日も早い収束、そして、平和条約締結交渉の再開に最大限努めていただくとともに、北方墓参をはじめとする北方四島交流等事

業の早期再開、また、平均年齢が 90 歳を超える元島民の思いに寄り添った事業の推進などについて要望致しました。

5）次に、根室地方総合開発期成会としての要望活動であります。

根室地方の地域づくり・総合開発に関する重点要望として、地域基幹産業の振興と基盤整備の促進、産業や暮らしを支える社会基盤整備の促進、国土の保全、自然環境の保全・整備と利活用の促進、安全・安心な地域づくりの推進、北方領土問題の解決に向けた関係諸施策の推進、教育・文化施設等の整備促進などを掲げ、6 月 12 日に、北海道開発局 釧路開発建設部 及び 釧路総合振興局　釧路建設管理部へ要望を行いました。

併せて釧根トライアングル整備構想 連絡会議として、防災・減災、国土強靭化等の着実な実施と予算確保、物流の効率化や安全性の確保のため、高規格道路　根室中標津道路と釧路中標津道路の整備促進などについて要望致しました。

2．寄贈金品について

次に、2 点目は、寄贈金品についてであります。

お手元に配付のとおり、3 月定例会後に、

物品で	7 件	
現金で	3 件	2,200,000 円
ふるさと納税で	596 件	13,973,100 円
企業版ふるさと納税で	5 件	12,000,000 円

の寄贈がございました。

寄贈金品を寄せられました方々に、改めて深く感謝を申し上げます。

３．令和７年国勢調査速報値について

次に、３点目は令和７年国勢調査 速報値についてであります。

昨年、10 月１日を基準日として実施されました国勢調査につきましては、国において調査票の集計作業が進められているところでありますが、５月 29 日に速報値として、人口と世帯数が公表されました。

本町の人口は、２万 1,785 人で、令和２年の前回調査と比較して 1,225 人の減、一方、世帯数では、１万 775 世帯で前回調査と比較して 198 世帯の増となりました。

道内 179 市町村のうち、恵庭市など９市町村で人口が増加する中で、札幌市のほか 170 の市町村が減少となっております。

本町は前回調査では 3.2％の減少率にとどまっていたものの、今回調査では 5.3％の減となり、人口の減少幅が拡大する結果となりました。

なお、今回の速報値では、北海道全体の総人口が昭和 30 年の調査以来 70 年ぶりに 500 万人を下回ったほか、世帯数におきましても調査開始以来初めて減少に転じるなど、道内における人口減少の状況が依然として厳しいことが示されております。

その他の集計結果につきましては、９月に公表が予定されております確定値を含め、調査項目ごとの集計が出来次第、順次公表される予定となっております。

４．作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況について

次に、４点目の作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況についてであります。

６月１日現在、根室農業改良普及センター発表の、農作物生育状況調査によりますと、牧草は、降水量が平年の半分と少なかったものの平均気温及び日照時間が平年を上回ったことから生育は順調で、平年より２日程成長が早まっております。

牧草以外の作物につきましても、天候に恵まれたことから、てん菜の移植作業や馬鈴薯の植付作業、飼料用トウモロコシの播種作業について４日程早く作業を終了しております。

その他、大根の播種、ブロッコリーの定植につきましては、６月１日時点では、概ね平年通りとなっており、作業は順調に進んでいるとのことであります。

今後の天候ですが、札幌管区気象台発表の３か月予報によりますと、天気は数日の周期で変わり、気温は平年より高くなる予報となっております。育成管理に苦慮することが予想されますが、農作物が順調に生育し、豊穣の秋が迎えられることを願うものでございます。

次に、公共牧場及び各牧野の入牧状況であります。

まず、町営の開陽台牧場への入牧でございますが、本年は５月 25 日、26 日の２日間を中心に合計 870 頭が入牧しました。

また、各牧野におきましても、順次入牧を行っておりまして、ＪＡ計根別及び町内４牧野の入牧頭数は、1,300 頭程度になると報告を受けております。

放牧期間中におきましては、家畜保健衛生所の指導の下、予防検査を実施し、適切な牧野衛生に努め、事故のない牧場運営を心がけてまいりたいと存じます。

次に、生乳生産についてでございますが、令和７年度の本町の生乳生産量は 21 万 8,500ｔで　令和６年度の 21 万 2,200ｔと比較し、6,300ｔ、率にして 3.0％の増となりました。

今年度につきましても、全道生乳生産目標が前年並みに設定されており、後継牛の確保を行いながら、目標数量が確保されることを期待しております。

５．中標津空港の利用促進について

次に、５点目の中標津空港の利用促進についてであります。

令和７年度の中標津空港の利用状況でございますが、東京線・新千歳線・丘珠線、全ての路線で前年を上回り、搭乗者数の合計は 24 万１千人、対前年比 110％となりました。

搭乗者数が 24 万人を超えたのは、平成 10 年の 25 万８千人に次いで２番目に高い水準となりました。

路線別では、東京線の利用者数は前年より１万 4,900 人増の９万７千人で、搭乗率は 3.8 ポイント増の 73％、新千歳線の利用者数は、前年より 5,800 人増の 10 万４千人で、搭乗率は４ポイント増の 67％、丘珠線の利用者数は、前年より 2,800 人増の４万人で、搭乗率は 11.6 ポイント増の 69％でした。

以上、定期便３路線の利用者合計は、前年度より２万3,500人増で、搭乗率は5.6ポイント増の69％でした。

定期便以外では、フジドリームエアラインズのチャーター便が８月に４便就航し、愛知県の小牧空港、石川県の小松空港、宮城県の仙台空港から延べ288名の方が中標津空港を利用し、ひがし北海道地域を周遊されました。

今後におきましても、ビジネス需要と併せ、国内観光及び訪日外国人旅行の需要が伸びることも予想されることから、札幌圏域との利便性の良さもＰＲしつつ、一層の利用促進・旅客需要の喚起に取り組んでまいります。

６．令和８年度建設工事の発注状況について

次に、６点目の令和８年度建設工事の発注状況についてでありますが、令和８年６月１日現在でご報告申し上げます。

令和８年度の発注計画は、件数161件、金額にしまして、
31億9,380万円ほどであります。

これに対し、発注状況ですが、件数で67件、率にしまして、
42％となっております。

金額では、17億3,572万円、率にしまして、54％の発注となっているところであります。

以上、６点についてご報告申し上げ、一般行政報告といたします。

令和8年6月定例会一般行政報告・寄贈金品に関する資料

（敬称 略）

月 日	寄 贈 者	寄贈の目的	寄贈金品
R8.3.6	有限会社 和光 代表取締役社長 宮谷 哲也	学校での衛生管理のため	使い捨て清掃用厚手クロス 12,600 枚
R8.3.16	マルハン中標津店 店長 小川 泰寛	町内小学校児童の 学習環境向上のため	鉛筆（新1年生へ1人1ダース） 2,280 本
R8.3.17	JAPAN vegetables 株式会社 代表取締役 渡瀬 葉月	学校給食食材として	じゃがいも 300 ㎏
R8.3.17	根室地区酪農対策協議会 会長 標津町農業協同組合 代表理事組合長 千葉 実	学校給食食材として	コーヒー牛乳 1,940本 他 5品目
R8.3.18	中標津町立広陵中学校生徒会 会長 道上 陽希	児童センターみらいるの 備品として	知育家具 1 式
R8.3.23	中央コンピューターサービス株式会社 代表取締役 所 達也	多様なつながりで活性化する まちづくりのために	現金 1,000,000 円
R8.3.23	匿名希望	町立中標津病院での 入院加療におけるお礼として	現金 200,000 円
R8.3.30	北栄建設有限会社 代表取締役 小野 美智子	創業50周年を記念して 町の振興のために	現金 1,000,000 円
R8.4.14	子育てwin3計画 代表 水野 正司	子育て教育の普及のため	図書「みんなの子育てスキル」 80 冊
R8.4.22	国際ロータリー第2500地区 母子の健康増進委員会 委員長 小田 衣代	児童生徒の発育支援のため	生理用ナプキン 10 箱
【ふるさと応援寄附金】			
R8.2月	収納件数 254 件		5,370,600 円
R8.3月	収納件数 282 件		5,641,100 円
R8.4月	収納件数 60 件		2,961,400 円
【企業版ふるさと納税寄附金】			
R8.3.19	札幌市 株式会社ニトリ 代表取締役会長 似鳥 昭雄		5,000,000 円
R8.3.19	釧路町 丸二サッシ工業（株） 代表取締役 小島 勝幸		2,000,000 円
R8.3.24	福岡県福岡市 （株）アイキューブドシステムズ 代表取締役執行役員社長 CEO 佐々木 勉		1,000,000 円
R8.3.25	別海町 渡邊清掃株式会社 代表取締役 藤本 達也		1,000,000 円
R8.3.25	札幌市 北海道彌生ホールディングス株式会社 代表取締役 長谷川 尚功		3,000,000 円